

図工室だより

令和3年 7月 19日

千代田区立九段小学校

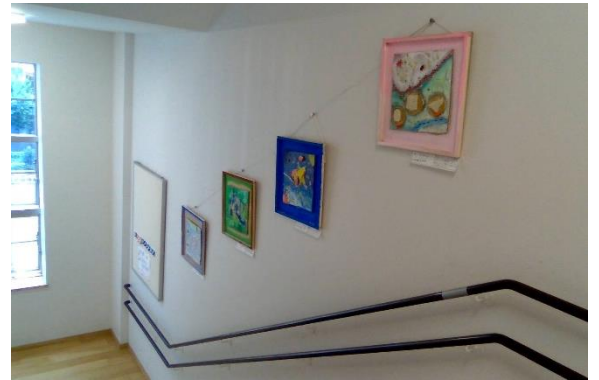
校長 清水 明

図画工作科 大高 美和

一人ひとりの作品を飾ることのよさ

タブレットが一人一台導入されたことで、作品鑑賞のために子供たちは自分で完成した作品を撮影します。立体作品は子供なりの撮影角度があり、そこには鑑賞者に気付いてほしい工夫や見てほしい風景があります。教師が気付かなかったすてきな見方を子供が教えてくれることがあります。

6年生は有志で、階段にお手製の額縁をつけた作品を展示しました。少し恥ずかしいけれど勇気を出して「展示したい



です。」と申し出てくれた子供もいたのではないのでしょうか。個別に距離を取って作品を飾ると、一人ひとりの材料の組み合わせや色の選び方など、子供たちに備わってきた感性がよくわかります。

子供の作品を一堂に並べるのではなく個別に展示して鑑賞することで、見えてくる成長があります。ぜひ、ご家庭でも期間を決めてお子さんの作品を展示してみてもはいかがでしょうか。

1【6・7月の図工の様子】

3年生「広がれ！すてきなほうけん」

液体粘土を固めた手ぬぐいを、風景に見立て、見たことのない冒険の世界をイメージしました。大海原や秘密の洞窟など、様々なイメージをもって活動しています。紙や紙粘土を中心に身近な材料の活かし方、接着の仕方を学んでいます。



4年生「ギョギョ魚！新種の魚発見」

焼き物の粘土や道具の扱いの基本を学びながら、見たことのない魚をイメージして表します。つくり方には様々な制約がありますが、思いついた形をのびのびと表す子供たちに逞しさを感じました。



5年生「段ボール、試して作って」

段ボールの折り方や曲げ方、水につけて形を変える方法を試して、そこから表したい形を見つけて表します。自分で「〇〇にしよう。」と決めて努力して表す子もいれば、なんとなく形を組み合わせていくうちに、見たこともない不思議な建物や風景に出会う子もいます。どちらにも試行錯誤の末に考えを深める姿を見取ることが出来ます。



6年生「12歳の方で」(試作)「ひらい・ふわい 空間とのいい感じ」

6年生は木工工作の試作と、造形遊びを行いました。木工工作の試作では、スケッチから考えたり、試作の紙を折り曲げながら考えたり、自分に合う方法で発想しました。

造形遊びは「薄葉紙と半紙」を用いて図工室の光や風に合う表し方を考えました。活動の最後に子供たちは、すてきに変身した風景をタブレットに撮影し、付箋を使って互いに感想を書き込みました。それぞれ違う表し方が生まれる中で、自分にはない表現のよさに気付くことができました。



2【9月の題材予定】

学年	題材	分野	持ち物
3年	色水ランド 音を感じて	造形遊び 鑑賞	絵の具セット・汚れてもよい服装で
4年	不思議な乗り物！Let's Go！ 新聞紙でステキエリア	アニメーション 造形遊び	タブレット（充電してください）
5年	風神雷神図屏風 色水と場所とのいい感じ	鑑賞 造形遊び	絵の具セット 汚れてもよい服装で
6年	12歳の方で	立体	三角定規

